

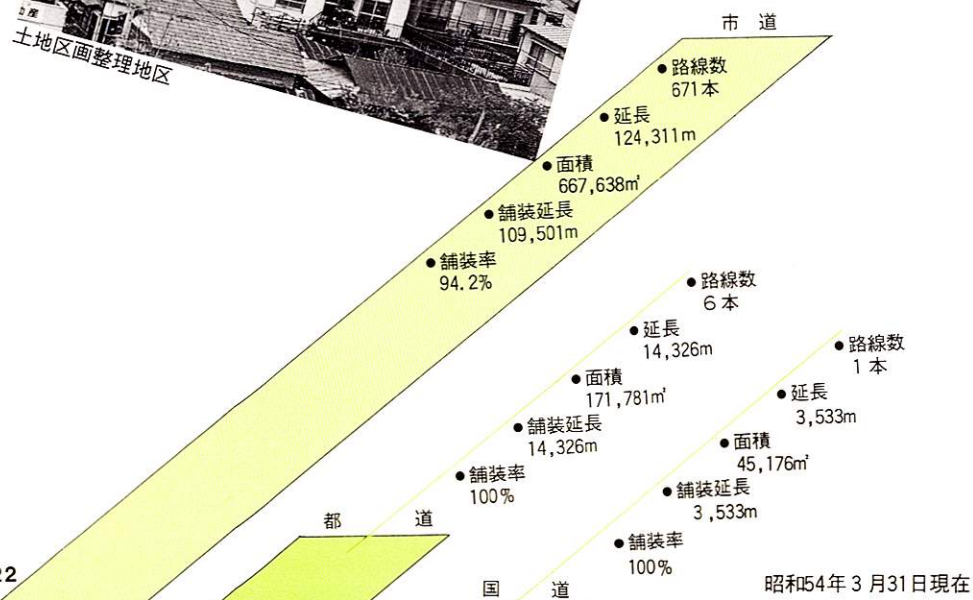
## 市の境界線変更

市民のだれもが「福生に住んでほんとうによかった」というまちづくりのため、土地区画整理事業をおし進めてきた加美平地区の神明台1・2・4丁目が羽村町に変更されました。これは、昭和54年12月の定例議会で議決され、55年4月1日羽村町との境界変更が行われたためです。なお、その他に本市から羽村町に変更された町名は松原町3丁目、川崎2丁目です。

なお、羽村町から福生市に変更される町名は、羽村町武蔵野台1・2丁目、神明台1丁目、松原町3丁目、川崎2丁目、加美平1・2丁目などです。



### ●道路状況



# 都市機能の効率的な集積と配置

### ●市街化区域661.4ha

秩父・奥多摩山地を源流とする多摩川が、青梅付近で山地をぬけて関東平野に流れ出た多摩川左岸にひろがるまちが福生。総面積は10.41km<sup>2</sup>。31.7%を横田基地で占め、29.2%が公用地その他が29.2%、宅地25.8%です。

この総面積10.41km<sup>2</sup>が都市計画区域で、昭和45年末、市街化区域661.4ha、市街化調整区域380ha



市街化区域

(横田基地330ha含)にまっています。昭和48年末、用途地域の区分が決定され、併せて高度地区と防火地域との指定が行われ、とくに用途地域の区分は住宅環境の保護を中心に、土地利用の高度化ははかられ、それまでの4種類から8種類に分けられています。



福生駅東口

### ●福生駅東口も進行中

市では、早くから市街地整備を進めてきましたが、これは快適でゆたかな生活を営み、都市機能の効率的な集積と配置による活力ある都市活動を展開するための、都市基盤をととのえる点にあったのです。すでに、土地区画整理事業で武蔵野台地区が完成し、多摩河原・加美平両地区も終わっています。

一方、福生駅周辺一帯は、近隣市町の急激な人口増加にともない、利用人口も急増。そのため、商業振興と良好な環境を保つ目的で、目下福生駅東口地区の土地区画整理事業を推進中です。そのおもな整備内容は、東口駅前広場の開発、住居地区での道路、公園、下水道の整備をおし進めることです。

### ●市民の足を確保

市のおもな交通機関は、国鉄青梅線、八高線、五日市線のほかに、バス路線があります。現在、西東京バスと立川バスが走っていますが、運行本数は186本です。今後、当市ならびに近隣市町の発展にともなって、バス利用者はさらに増加するものと予想されますので、駅前広場(東口)の整備にともない、バスターミナルの整備をはかります。



市民の足を確保

また、鉄道との有機的な接続と市内循環バス路線の充実に努めます。



整備が完了した道路

### ●市民生活に直結した道路ネットワーク

国道16号線、主要都道立川・青梅線、杉並・五日市線などを軸として、市道が交差して市の交通ネットワークを形成しています。市道671路線の総延長12万4,311m、舗装延長10万9,501m、舗装率94.2%となっていますが、なかには、幅員が狭隘なところもあり、今後の道路体系にあわせ、市民生活優先の立場に立って、道路構造の改善を前提に生活道路としての整備をさらにととのえていきます。また、通勤、通学、ショッピングなど、市民の日常生活に密着した生活道路の整備についても、鋭意努力していきます。